

事務事業名	花壇・生垣設置支援事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6227								
			所属課室	みどり自然課		課長名	戸栗 香								
			所属担当	花とみどりの推進		担当者名	藤巻 和彦								
基本政策	基本計画体系	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		13	都市空間の整備		01	一般	0	8	0	4	0	6	0	3	0
政策		21	安らぎ空間の整備		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度（ 年度）		法令根拠		花壇・生垣推進に関する補助金交付要綱 南アルプス市緑の基本計画										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ★花壇・生垣設置支援事業 ○補助金交付額：H21年度18件 2,502千円 H22年度 19件 1,191千円 ○交付対象経費：公道に面する宅地に花壇・生垣を設置する市民に対して設置費用の一部を補助する。補助率2/3 ①花壇の設置②生垣の新設③支柱の購入④ブロック塀の取壊し③植栽、種苗代				事業費の主な内訳（22年度） 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) その他補助金(市 1,888										
					計 1,888										

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	補助金交付者数 19件
23年度活動予定	補助金交付者数 30件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
○花壇 ・生垣を新設する市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
○花壇 ・生垣を設置する市民に対して助成する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
①緑豊かな街並みを形成し、潤いと安らぎを与えてくれる住環境を形成する。②地震や火災など災害に強い安全で安心なまちづくりに寄与する。③道路幅の拡幅を推進し、住環境の整備を図る。④家庭緑化を進め、CO2の削減に努める。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 補助金申請数	件
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 市内世帯数	戸
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 花壇・生垣設置補助個数	戸
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 緑が連なる潤いのある街並みだと感じる市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,052	1,191	1,890	1,710	1,710	1,710	
	事業費計 (A)			千円	2,052	1,191	1,890	1,710	1,710	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	
		人件費計 (B)	千円	1,338	1,338	1,189	1,189	1,189	1,189	0
		(A)+(B)	千円	3,390	2,529	3,079	2,899	2,899	2,899	0
	活動指標	ア	件	18.0	19.0	30.0	19.0	20.0	20.0	
		イ	件	18.0	19.0	30.0	19.0	20.0	20.0	
	対象指標	ア	戸	20,000.0	25,218.0	25,437.0	25,628.0	25,878.0	26,138.0	
		イ	戸	18.0	19.0	30.0	19.0	20.0	20.0	
	成果指標	ア	戸	18.0	19.0	30.0	19.0	20.0	20.0	
		イ	件							
	上位成果指標	ア	%							
		イ	%							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年度より ①緑豊かな街並みを形成し、潤いと安らぎを与えてくれる住環境を形成する ②地震や火災など災害に強い安全で安心なまちづくりに寄与する ③道路幅の拡幅を推進し、住環境の整備を図る。 ④家庭緑化を進め、地球温暖化対策に対する意識が高まり、CO2の削減に努める意識が見られる。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	補助件数の増加に努力

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助基準を減額化して、広く市民に設置補助金を交付する。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	花壇・生垣設置支援事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市みどりの基本計画に基づいている。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 南アルプス市みどりの基本計画に基づき、事業実施	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 緑豊かな街並み形成のため、今後も維持、継続していくことは妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 補助件数の増加を図るには、広報・CATV等で周知する	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 緑の基本計画によるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 緑の基本計画の中では、より一層の豊かな街並み形成が求められている。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金交付決定事務を行うため削減できない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 全市民を対象としている。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	南アルプス市を緑豊かな街並みで形成し、地震など防災においても安全で安心なまちづくりに寄与するための事業であり、非常に必要性のある事業である。事業費の原則2/3を市が補助し、受益者も1/3負担しており、それぞれ細分化した事業費について限度額を設けて運営している。また、市内全体から申請者を募っており、公平性も適切である。今後も引き続き事業の推進を行っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① 要綱にもとづき、処理を適正かつ、迅速に行う。 ② 補助件数の増加を図るには、広報、CATV等で周知する。 ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 事務作業の効率化を図る。 ② 市民に周知の徹底 ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑥																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					